

# 日本史演習4C－Ⅱ

科目ナンバリング SEM-308  
選択必修 2単位

山本 英貴

## 1. 授業の概要(ねらい)

本授業は、受講生それぞれが関心のある史料を取り上げて報告し、先行研究の調べ方、論文の読み方と課題の見つけ方、論証の方法などを習得することを目的としている。

## 2. 授業の到達目標

卒業論文執筆のため、日本近世史に関する基本的な知識を養う。

卒業論文の作成に必要な文献の探し方、研究書・辞典類を使用して史料を正確に読むための力を身に付ける。

## 3. 成績評価の方法および基準

報告および質疑応答への参加状況(60%)

課題の提出(40%)

## 4. 教科書・参考文献

## 5. 準備学修の内容

受講生は報告を担当する一週前に、授業で取り上げる史料を提出する。そして、報告日までに史料の書き下し文と現代語訳、語句と人名、史料をもとにした考察を載せたレジュメを提出する。その他の受講生は、毎週、授業で取り上げる史料の現代語訳を課題として提出する。

## 6. その他履修上の注意事項

授業は、受講生作成のレジュメをもとに実施する。他の受講生にも関わることであり、報告担当時はレジュメをしっかり作り込むこと。

## 7. 授業内容

|        |               |
|--------|---------------|
| 【第1回】  | 本授業の説明・報告者の選定 |
| 【第2回】  | 報告レジュメの作成準備   |
| 【第3回】  | 報告レジュメの作成準備   |
| 【第4回】  | 担当者の報告と質疑応答   |
| 【第5回】  | 担当者の報告と質疑応答   |
| 【第6回】  | 担当者の報告と質疑応答   |
| 【第7回】  | 担当者の報告と質疑応答   |
| 【第8回】  | 担当者の報告と質疑応答   |
| 【第9回】  | 担当者の報告と質疑応答   |
| 【第10回】 | 担当者の報告と質疑応答   |
| 【第11回】 | 担当者の報告と質疑応答   |
| 【第12回】 | 担当者の報告と質疑応答   |
| 【第13回】 | 担当者の報告と質疑応答   |
| 【第14回】 | 担当者の報告と質疑応答   |
| 【第15回】 | 授業のまとめ        |